



学校だより

たくま

白鷹町立荒砥小学校 令和 3年 2月26日

笑顔の花を咲かせる

校長 菅原 透



立春、雨水も過ぎ、春が確実に近づいてきています。三寒四温とは申しますが、今年は寒さと温かさの変化が極端です。寒暖差疲労なる言葉も出てきておりますので、皆様、くれぐれもご自愛ください。

さて、今の時期は、それぞれの学年のしめくくりとともに、縦割り班等のバトンタッチ活動が盛んです。児童会では、6年生から5年生へリーダーシップを受け渡す「引き継ぎ式」が行われました。様子を紹介すると…。開会のあいさつで「役割と意思を引き継ぐ」という意義を確認。計画委員長は、今年度の足跡と実績を堂々と発表。続いて各委員長から次期委員長へエールを含めたメッセージ。最後は次期計画委員長の決意表明となりました。「自分から、自分達で、みんなの学校を創る」という“風”が吹く、厳粛な雰囲気、これまでの自信が体育館いっぱいに満ち溢れました。言われたことをしっかりやるのはすごいことですが、成長してくると、やりたいことやしなくてはならないことを自ら考え、試行錯誤し、成し遂げるようになります。6年生は最高学年として大活躍し、“校風”を生み、“伝統”を創ってくれました。



【6年生のメンコちゃんとの会話から】

校；児童会引き継ぎ式だね…。

メ；早いです。もう、2年たつのですね。

校；もっとやりたい？

メ；そうですね。

校；それはなぜ。

メ；やっと慣れてきたと言う感じだし、それに楽しいからです。

校；楽しいってどんなことかな。

メ；友達といっぱい話し合えるし、あいさつにしても、みんなが変わってくるのがわかると嬉しいし…。

校；そうかあ。いいねえ。嬉しいねえ。

「やりがい」があることには魅力が生まれます。ただ、それを感じ取れるかは、本人の心の持ちようであったり、達成感であったり、仲間との支え合いや励まし合い等によります。このメンコちゃんは、それらのいずれかで楽しく活動し、やりがいを実感し、意欲を喚起したのだと思います。自分が“がんばった”と言える取り組みで、自分自身をのびたと言えます。“楽しい”を積み上げて“やる気”を生む。やる気をもとに挑戦し、できるようになって“自信”を生む。子ども達の輝く笑顔、桜よりちょっと一足早く、校内いっぱいに咲かせたいと思います。

